

2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 Hiクラテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4172 URL <https://www.hi-crates.co.jp/>
 代表者（役職名） 取締役CCO（氏名） 飯塚 正也
 問合せ先責任者（役職名） 経理部部长（氏名） 西山 剛生（TEL）086-243-3003
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第1四半期の業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	632	3.4	187	10.5	206	2.3	136	0.8
2025年9月期第1四半期	611	29.9	170	206.6	202	83.8	135	82.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	売上高 営業利益率	売上高 経常利益率	売上高 当期純利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年9月期第1四半期	61.09	—	29.7	32.7	21.5
2025年9月期第1四半期	60.60	—	27.8	33.1	22.1

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,578	4,228	92.4
2025年9月期	4,721	4,196	88.9

（参考）自己資本 2026年9月期第1四半期 4,228百万円 2025年9月期 4,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	44.00	—	49.00	93.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	44.00	—	44.00	88.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. （1）2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,258	1.7	355	2.9	413	0.7	277	0.2	124.70
通期	2,484	3.2	562	2.3	662	1.6	451	0.8	202.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（2）経営指標

	株価収益率 (PER)	株価純資産倍率 (PBR)	自己資本利益率 (ROE)
	倍	倍	%
2026年9月期（予想）	11.6	1.2	10.7
2025年9月期	12.1	1.3	11.0

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	2,228,000株	2025年9月期	2,228,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	165株	2025年9月期	165株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	2,227,835株	2025年9月期1Q	2,227,924株

(4) 3. (2) 経営指標の計算方法については以下の通りです。

PERは株価終値を1株当たり純利益(2026年9月期は業績予想数値を使用)で割って計算しております。

PBRは株価終値を1株当たり純資産で割って計算しております。

ROEは純利益(2026年9月期は業績予想数値を使用)を期中平均の純資産で割って計算しております。

2026年9月期(予想)の株価は2025年12月30日終値の2,356円で計算しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、高市新政権が掲げる「責任ある積極財政」を軸とした成長戦略の下、経済構造やその在り方が大きく変化する局面にあります。一方、財政不安を背景とした円安の進行による物価上昇に加え、政策金利が30年ぶりの水準となる0.75%へ引き上げられたこと、さらには人件費の継続的な上昇などを受け、企業の経営環境は一層厳しさを増しています。その結果、年間の倒産件数は1万件を超える水準となるなど、さらに景気の先行きに対する不透明感が強まっています。

このような中、政府が推進する「攻めの予防医療」を背景に、医科では病床数の削減、調剤薬剤ではOTC類似薬の保険適用見直しなど医療費抑制へ向けた構造改革が進む一方、歯科業界では「健康寿命の延伸」が最大のテーマとなっており、歯周病の重症化予防や口腔機能管理を通じて、今、地域医療における歯科の役割が大きく高まっています。

そこで当社は、歯科業界が抱える課題に対し、「治療から予防」「外来から訪問」を2大テーマに掲げ、各種施策を推進して参りました。具体的には、11月20日に株式会社船井総合研究所との協業によるセミナーを開催したほか、12月25日には、Forbes誌（3年連続掲載）において「歯科医療の生産性を3倍へ 歯科DXから始まる日本の健康インフラ革命」と題した取材記事を掲載して啓蒙活動を実施して参りました。さらに「AI・音声歯周病精密検査」「AI・音声サブカルテ」「CSコネクタ」からなる「異次元の3本柱」を切り口として「AI・音声電子カルテ統合システム Revo. 11」「AI・音声歯周病精密検査」「AI・音声サブカルテ」の3商品を総称する  の拡販に取り組んで参りました。併せて、医療DXの進展を背景に、各種補助金支援ソフトの販売も継続的に注力して参りました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高632,411千円(前期比3.4%増)、営業利益187,973千円(前期比10.5%増)、経常利益206,700千円(前期比2.3%増)、純利益136,104千円(前期比0.8%増)、過去最高の利益水準となりました。

さらに自己資本比率92.4%、売上高経常利益率32.7%、売上高当期純利益率21.5%と高水準の経営指標となり、2026年9月期予想ベースでPER 11.6倍、PBR 1.2倍、ROE 10.7%となっております。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は4,578,230千円となり、前事業年度末と比較して143,701千円減少いたしました。

a. 流動資産

流動資産は2,402,057千円となり、前事業年度末より40,055千円減少いたしました。主な内訳は、商品の減少24,691千円と、現金及び預金の減少46,262千円、売掛金の増加36,937千円であります。

b. 固定資産

固定資産は2,176,173千円となり、前事業年度末より103,645千円減少いたしました。主な内訳は、ソフトウェアの減少15,538千円、投資有価証券の減少82,525千円、繰延税金資産の減少24,776千円であります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は349,379千円となり、前事業年度末と比較して176,471千円減少いたしました。

a. 流動負債

流動負債は289,231千円となり、前事業年度末より177,033千円減少いたしました。主な内訳は、買掛金の減少10,281千円、未払金の減少108,496千円、未払法人税等の減少64,229千円、賞与引当金の減少12,846千円、預り金の増加27,576千円であります。

b. 固定負債

固定負債は60,147千円となり、前事業年度末に比べて大きな増減はありませんでした。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は4,228,851千円となり、前事業年度末と比較して32,769千円増加いたしました。前事業年度に係る配当金の支払いが109,164千円生じた一方、四半期純利益を136,104千円計上したことにより利益剰余金が26,940千円増加、その他有価証券評価差額金が5,829千円増加したことによるものであります。

(2) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期累計期間において、当社が優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は、20,200千円であります。なお、当第1四半期累計期間において当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第1四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因について、重要な変更はありません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の第2四半期の業績予想について修正いたしましたので、同日開示しております『第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ』をご参照ください。なお、2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました「2025年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の通期業績予想を据え置いております。

政府が掲げる「攻めの予防医療」、すなわち「治療から予防・外来から訪問へ」といった歯科医療提供体制の大転換は、「健康寿命の延伸・医療費の抑制・国民のQOL向上」に資するものであり、当社の事業を取り巻く政策環境を絶好の機会と捉え、これまでの商品開発や戦略的取り組みが真の成果へと結実する、まさにパラダイムシフト直前、「革命前夜」とも言える最大の成長期に突入したと確信しております。

だからこそ、2026年1月1日 AI・音声シリーズの総称  と商号を統一、 へと社名変更、1月23日BSテレビ東京「サステナMIRAI～小谷真生子の地球経済大調査～」へ3回連続出演、ブランド力と企業価値を高めて参りました。

さらに、上場5周年に当たる2026年歯科業界においては、① 歯科DX支援ソフト補助金終了 ② マイナ保険証一本化 ③ 医療情報プラットフォーム創設 ④ 電子カルテ情報共有サービス開始 ⑤ 令和8年度 診療報酬大改定 ⑥ 国民皆歯科健診制度開始といったスケジュールが予定されており、「治療から予防・外来から訪問へ」医院経営を革新、社会問題である「衛生士不足・健康寿命延伸・医療費抑制」の課題解決へ貢献する為には  が必要不可欠となります。

そこで、2月14日「令和8年診療報酬改定先取り×歯科AI革命で生産性3倍」と題して、オンライン同時セミナーを開催、さらに4月11・12日インテックス大阪で開催される近畿デンタルショーへ出展、歯科業界に大きな変革を巻き起こして参ります。

併せて、2025年9月に設立した「石井滋久記念財団」は、設立主旨および事業内容が評価され、設立から僅か3ヶ月で「公益財団法人石井滋久記念財団」として認定、歯科衛生士不足という社会問題の解決および歯科衛生士の人材育成へ貢献して参ります。

これらの取り組みを通じて、2026年9月期は売上高24億84百万円、経常利益6億62百万円、売上高経常利益率26.7% 当期純利益4億51百万円、売上高当期純利益率18.2%へ3期連続 最高益更新を目指すと共に、2030年9月期には、売上高40億円、経常利益12億円、当期純利益8億円、売上高経常利益率30%、売上高純利益率20%達成へ挑戦して参ります。是非とも、引き続き、当社の動向に期待して下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,087	1,450,824
売掛金	175,659	212,596
有価証券	199,880	200,000
商品	120,474	95,782
前払費用	39,340	33,695
未収入金	2,992	6,681
預け金	406,679	400,972
その他	—	1,504
流動資産合計	2,442,113	2,402,057
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	288,019	293,671
構築物(純額)	1,784	1,739
車両運搬具(純額)	3,746	11,037
工具、器具及び備品(純額)	44,109	50,683
土地	387,987	387,987
有形固定資産合計	725,647	745,119
無形固定資産		
ソフトウェア	158,619	143,080
その他	3,208	3,146
無形固定資産合計	161,828	146,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,284,780	1,202,255
関係会社株式	30,000	30,000
敷金及び保証金	24,990	24,816
繰延税金資産	51,623	26,846
その他	949	908
投資その他の資産合計	1,392,343	1,284,826
固定資産合計	2,279,818	2,176,173
資産合計	4,721,932	4,578,230

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,103	22,821
未払金	214,734	106,238
未払法人税等	115,518	51,288
未払消費税等	45,703	41,727
預り金	5,932	33,509
賞与引当金	12,846	—
その他	38,425	33,645
流動負債合計	466,264	289,231
固定負債		
退職給付引当金	59,586	60,147
固定負債合計	59,586	60,147
負債合計	525,850	349,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,080	343,080
資本剰余金	297,480	297,480
利益剰余金	3,563,080	3,590,021
自己株式	△318	△318
株主資本合計	4,203,322	4,230,263
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,240	△1,411
評価・換算差額等合計	△7,240	△1,411
純資産合計	4,196,081	4,228,851
負債純資産合計	4,721,932	4,578,230

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	611,380	632,411
売上原価	127,527	133,985
売上総利益	483,853	498,425
販売費及び一般管理費	313,679	310,451
営業利益	170,173	187,973
営業外収益		
受取利息	1	1,657
有価証券利息	3,032	8,188
受取配当金	3,400	2,500
受取手数料	150	150
投資有価証券売却益	24,977	19,223
その他	391	2,257
営業外収益合計	31,954	33,976
営業外費用		
投資有価証券評価損	—	15,250
営業外費用合計	—	15,250
経常利益	202,128	206,700
税引前四半期純利益	202,128	206,700
法人税、住民税及び事業税	47,314	48,480
法人税等調整額	19,807	22,115
法人税等合計	67,121	70,596
四半期純利益	135,006	136,104

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、歯科医院向けシステム事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	19,290千円	25,910千円